



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月5日 東

上場会社名 株式会社クラレ 上場取引所  
 コード番号 3405 URL <http://www.kuraray.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 文大  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画本部 (氏名) 島本 智之 (TEL) 03-6701-1071  
 I R・広報部長  
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	301,970	11.0	36,670	0.8	36,934	3.6	22,151	3.5
25年3月期第3四半期	272,044	△1.3	36,388	△15.4	35,655	△16.0	21,400	△15.9

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 44,854百万円(129.1%) 25年3月期第3四半期 19,581百万円(△11.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	63.27	63.11
25年3月期第3四半期	61.40	61.34

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	604,433	434,485	70.8
25年3月期	587,254	401,307	67.2

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 428,022百万円 25年3月期 394,754百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	18.00	—	18.00	36.00
26年3月期	—	18.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	410,000	11.0	50,000	1.6	49,000	0.8	29,000	0.7	82.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年3月期3Q	382,863,603株	25年3月期	382,863,603株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	32,573,700株	25年3月期	34,029,727株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年3月期3Q	350,116,013株	25年3月期3Q	348,509,499株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「(2) 連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
(1)	経営成績に関する説明	2
(2)	連結業績予想などの将来予想情報に関する説明	3
2.	サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
	会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3.	四半期連結財務諸表	4
(1)	四半期連結貸借対照表	4
(2)	四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
	四半期連結損益計算書	6
	四半期連結包括利益計算書	7
(3)	四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
	(継続企業の前提に関する注記)	8
	(追加情報)	8
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
	(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2013年4月1日～2013年12月31日)における経営環境は、前連結会計年度終盤より円高の局面が是正されましたが、米国経済は好調であったものの、欧州、中国および新興国経済は停滞傾向が継続しており、全体的に想定した需要には至りませんでした。国内においても景気回復の兆しはあるものの、当社を取り巻く市場には顕著な効果はまだ見られていません。

このような状況においても、当社グループは持続的な成長を実現させるため、コア事業の世界戦略を加速するとともに、水・環境、エネルギー、光学・電子の各領域において次世代を担う事業の開発を積極的に推進しています。

当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は前年同期比29,925百万円(11.0%)増の301,970百万円、営業利益は281百万円(0.8%)増の36,670百万円、経常利益は1,279百万円(3.6%)増の36,934百万円、四半期純利益は751百万円(3.5%)増の22,151百万円と増収増益になりました。

当社は、2013年4月1日付の組織改定に伴い、第1四半期連結会計期間より報告セグメントを変更しており、第3四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後のセグメント区分に基づいています。

### セグメント別の状況

#### [ビニルアセテート]

当セグメントの売上高は133,599百万円(前年同期比16.6%増)、営業利益は35,800百万円(同3.8%減)となりました。

なお、当事業の持続的成長のため、米国DuPont社と同社のビニルアセテート関連事業を買収することに合意しました。

- ① 光学用ポパルフィルムは液晶テレビの需要が伸び悩むなか、パネルの在庫調整が長引き、販売量が減少しました。ポパル樹脂は数量は伸びましたが、欧州プラントの省エネ工事のための停止期間が長引き、一時的コストアップが発生しました。また、PVBフィルムは欧州の景気低迷の影響を強く受け、加えて自動車向け製品開発の費用が増加しました。一方、水溶性ポパルフィルムは旺盛な需要を背景に順調に拡大、それに対応するため米国における増設を決定し、工事を進めています。
- ② EVOH樹脂<エパール>は、米国、アジアを中心に順調に拡大しました。

#### [イソプレン]

当セグメントの売上高は39,224百万円(前年同期比16.3%増)、営業利益は3,655百万円(同64.1%増)となりました。

- ① イソプレン関連では、液状ゴムの需要は低調に推移しましたが、ファインケミカルおよび熱可塑性エラストマー<セプトン>は需要が回復しました。
- ② 耐熱性ポリアミド樹脂<ジェネスタ>は、LED反射板・コネクタ用途、自動車用途ともに好調でした。

#### [機能材料]

当セグメントの売上高は34,931百万円(前年同期比7.8%増)、営業利益は730百万円(同24.1%減)となりました。

- ① メタクリル樹脂は、市況低迷および原燃料価格上昇の影響を受けました。
- ② メディカルは、歯科材料の販売が堅調に推移しました。
- ③ 人工皮革<クラリーノ>は、新プロセス品の拡販が遅れ、全体として低調に推移しました。

#### [繊維]

ビニロンは、プレーキホース用途、アスベスト代替のFRC(繊維補強セメント)用途ともに順調に推移しました。この結果、売上高は33,287百万円(前年同期は33,280百万円)、営業利益は2,026百万円(同64.4%増)となりました。

#### [トレーディング]

一部の事業は景気低迷の影響を受け伸び悩みましたが、繊維資材関連をはじめとするその他の事業は総じて堅調に推移しました。この結果、売上高は79,788百万円(前年同期比1.5%減)、営業利益は2,458百万円(同1.3%増)となりました。

#### [その他]

活性炭事業は、浄水・エネルギー関連用途を主体に堅調に推移し、それ以外の事業については総じて景気低迷の影響を受けました。また、アクア・電材関連事業の開発費用増の影響もあり、売上高は47,846百万円(前年同期比2.1%増)、営業利益は1,619百万円(同44.7%減)となりました。

(2)連結業績予想などの将来予想情報に関する説明

液晶パネルの在庫調整長期化の影響による光学用ポバールフィルムの減益、欧州におけるPVBフィルム市場の伸び悩みおよびポバール樹脂の運転トラブルによるコストアップ、新規事業開発費用増等を踏まえ、通期の連結業績予想を下表のとおり修正します。

2014年3月期 通期連結業績予想数値の修正 (2013年4月1日～2014年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益(円 銭)
前回発表予想 (A) (2013年10月29日)	420,000	55,000	53,500	32,000	91.35
今回修正予想 (B)	410,000	50,000	49,000	29,000	82.79
増減額 (B-A)	△10,000	△5,000	△4,500	△3,000	
増減率 (%)	△2.4	△9.1	△8.4	△9.4	
(ご参考) 前期実績 (2013年3月期)	369,431	49,197	48,590	28,798	82.62

第4四半期以降の平均為替はUSドル104円、ユーロ140円、国産ナフサ価格72千円/KLを前提としています。

<ご参考>2014年3月期 セグメント別業績予想数値

(単位：億円)

	売上高	営業利益
ビニルアセテート	1,800	470
イソプレン	530	60
機能材料	490	15
繊維	470	30
トレーディング	1,100	35
その他	660	20
調整額	△950	△130
合計	4,100	500

注：上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なることがあります。

2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(会計基準等の改正等に伴う会計方針の変更)

第1四半期連結会計期間より一部の在外子会社について「従業員給付」(国際会計基準審議会 国際会計基準第19号 2011年6月16日)を適用しています。これにより、数理計算上の差異、過去勤務費用および純利息費用等の認識方法ならびに表示方法の変更等を行っています。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前第3四半期連結累計期間および前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表および連結財務諸表となっています。なお、前第3四半期連結累計期間および前連結会計年度における当該遡及適用による影響は軽微です。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2013年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2013年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	46,151	56,926
受取手形及び売掛金	83,843	85,256
有価証券	31,696	54,604
商品及び製品	57,823	58,652
仕掛品	10,332	12,535
原材料及び貯蔵品	15,138	16,773
繰延税金資産	5,732	4,506
その他	7,237	6,288
貸倒引当金	△742	△397
流動資産合計	257,212	295,145
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	41,938	43,343
機械装置及び運搬具(純額)	82,298	85,629
土地	20,425	21,312
建設仮勘定	32,326	51,293
その他(純額)	4,285	4,659
有形固定資産合計	181,274	206,237
無形固定資産		
のれん	24,659	25,408
その他	26,664	28,802
無形固定資産合計	51,324	54,210
投資その他の資産		
投資有価証券	83,543	35,395
長期貸付金	679	317
繰延税金資産	2,744	3,281
前払年金費用	5,437	5,241
その他	5,114	4,651
貸倒引当金	△76	△46
投資その他の資産合計	97,442	48,839
固定資産合計	330,041	309,287
資産合計	587,254	604,433

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2013年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2013年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	37,048	34,882
短期借入金	30,918	16,769
未払法人税等	7,687	3,072
賞与引当金	6,590	4,183
その他の引当金	21	7
その他	29,182	28,727
流動負債合計	111,449	87,643
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	28,171	32,338
繰延税金負債	14,872	16,489
退職給付引当金	6,665	8,125
役員退職慰労引当金	178	136
環境対策引当金	1,051	1,051
資産除去債務	2,336	2,428
その他	11,221	11,735
固定負債合計	74,497	82,305
負債合計	185,947	169,948
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	88,955	88,955
資本剰余金	87,147	87,147
利益剰余金	263,262	272,373
自己株式	△40,169	△38,451
株主資本合計	399,195	410,025
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,076	7,384
繰延ヘッジ損益	△17	△5
為替換算調整勘定	△9,877	11,464
年金負債調整額	△622	△846
その他の包括利益累計額合計	△4,440	17,997
新株予約権	1,221	1,015
少数株主持分	5,330	5,446
純資産合計	401,307	434,485
負債純資産合計	587,254	604,433

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2012年4月1日 至 2012年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年12月31日)
売上高	272,044	301,970
売上原価	183,461	207,690
売上総利益	88,582	94,280
販売費及び一般管理費		
販売費	13,764	14,716
一般管理費	38,428	42,893
販売費及び一般管理費合計	52,193	57,609
営業利益	36,388	36,670
営業外収益		
受取利息	335	467
受取配当金	1,365	1,419
持分法による投資利益	15	7
その他	1,088	1,170
営業外収益合計	2,805	3,064
営業外費用		
支払利息	727	749
その他	2,812	2,049
営業外費用合計	3,539	2,799
経常利益	35,655	36,934
特別損失		
買収関連費用	753	1,349
操業休止関連費用	—	743
固定資産廃棄損	222	445
減損損失	187	118
投資有価証券評価損	559	—
環境対策引当金繰入額	111	—
構造改善特別損失	67	—
特別損失合計	1,901	2,656
税金等調整前四半期純利益	33,753	34,277
法人税、住民税及び事業税	10,393	11,644
法人税等調整額	1,670	217
法人税等合計	12,064	11,861
少数株主損益調整前四半期純利益	21,689	22,415
少数株主利益	289	264
四半期純利益	21,400	22,151



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2012年4月1日 至 2012年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	21,689	22,415
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	807	1,309
繰延ヘッジ損益	0	11
為替換算調整勘定	△2,851	21,341
年金負債調整額	△65	△224
その他の包括利益合計	△2,108	22,438
四半期包括利益	19,581	44,854
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	19,291	44,589
少数株主に係る四半期包括利益	289	264

### (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

#### (継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

#### (追加情報)

##### 取得による企業結合

当社は、主として当社子会社がE. I. du Pont de Nemours and Company社（以下「DuPont社」という。）より、同社グループのビニルアセテートモノマー（VAM）、ポパール（PVA）樹脂、ポリビニルブチラール（PVB）樹脂・フィルム等からなるビニルアセテート関連事業を譲り受ける（以下「本買収」という。）ための契約を締結することを2013年11月21日に決定し、同日DuPont社と同契約を締結しています。

##### 1. 事業譲受の概要

###### ① 相手企業の名称及び取得する事業の内容

名称 E. I. du Pont de Nemours and Company  
取得する事業の内容 ビニルアセテート関連製品（VAM、PVA、PVB等）の製造・販売に関する事業

###### ② 事業譲受を行う主な理由

本買収は、コア事業の一つである「ビニルアセテート系事業」の拡大戦略の一環として実施するものです。  
世界に先駆けてPVA樹脂の工業化に成功した当社は、同事業のパイオニアとして、ビニルアセテート（酢酸ビニル）を主要原料とするPVA樹脂、ポパールフィルム、PVB樹脂・フィルム、EVOH（エチレン・ビニルアルコール共重合体）樹脂（当社商標<エパール>）、PVA繊維ビニロンを世界的に展開しています。本買収による、DuPont社が持つ同事業の技術力、開発力、販売力および生産・販売拠点との融合は、当社の持続的な成長実現に大きく貢献するものです。

###### ③ 企業結合日

本買収は所管当局の正式な承認を経て、2014年前半の買収完了を目指します。

###### ④ 企業結合の法的形式

現金を対価とする資産及び株式の取得

###### ⑤ 事業譲受後の企業の形態及び名称

主として当社子会社により事業を譲受ける予定です。

###### ⑥ 取得企業を決定するに至った主な根拠

主として当社子会社による現金を対価とする資産及び株式の取得であるため。

##### 2. 取得する事業の取得原価及びその内訳

543百万USドルに在庫相当額を加えた金額を予定しています。

#### (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I. 前第3四半期連結累計期間(自 2012年4月1日 至 2012年12月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ビニルア セテート	イソプ レン	機能材料	繊維	トレーデ ィング	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	92,826	21,262	19,690	25,505	78,431	237,715	34,328	272,044	—	272,044
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	21,715	12,454	12,699	7,775	2,582	57,227	12,526	69,754	△69,754	—
計	114,541	33,716	32,390	33,280	81,013	294,943	46,855	341,798	△69,754	272,044
セグメント利益	37,210	2,227	962	1,232	2,425	44,058	2,929	46,988	△10,599	36,388

- (注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、活性炭事業、アクア事業、エンジニアリング事業等を含んでいます。
2. セグメント利益の調整額△10,599百万円には、セグメント間取引消去△281百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用△10,317百万円を含んでいます。全社費用の主なものは、提出会社の基礎研究費、本社管理部門費です。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。

II. 当第3四半期連結累計期間(自 2013年4月1日 至 2013年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ビニルア セテート	イソプ レン	機能材料	繊維	トレーデ ィング	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	115,683	23,154	23,784	25,343	77,881	265,846	36,123	301,970	—	301,970
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	17,916	16,069	11,147	7,943	1,906	54,984	11,723	66,707	△66,707	—
計	133,599	39,224	34,931	33,287	79,788	320,831	47,846	368,678	△66,707	301,970
セグメント利益	35,800	3,655	730	2,026	2,458	44,670	1,619	46,289	△9,619	36,670

- (注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、活性炭事業、アクア事業、エンジニアリング事業等を含んでいます。
2. セグメント利益の調整額△9,619百万円には、セグメント間取引消去611百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用△10,231百万円を含んでいます。全社費用の主なものは、提出会社の基礎研究費、本社管理部門費です。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間に、組織改定を実施したことにより、報告セグメントの区分を従来の「樹脂」「化学品」「繊維」「トレーディング」から「ビニルアセテート」「イソプレン」「機能材料」「繊維」「トレーディング」に変更しています。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しています。